

# せたがや国際メッセ 2020

## ～ 多文化共生と国際貢献を考える講演会 ～ 実施報告

### 1. 目的

来場者に対し、「やさしい日本語」に関する講演や「国境なき医師団」の活動に関する講演を行い、多文化共生及び国際貢献についての意識啓発を図る。

また、動画による区内活動団体等の紹介を併せて実施することで、参加者にボランティアなどの活動の場を紹介する。

### 2. 開催日時

令和2年12月19日(土)

第1部 午前10時～正午 (開場:午前9時30分)

第2部 午後2時～3時30分 (開場:午後1時30分)

### 3. 開催場所

成城ホール

### 4. 来場者数

第1部 87名

第2部 86名

### 5. 内容

第1部 講演:「やさしい日本語で話そう！」

講師:吉開 章 氏(やさしい日本語ツーリズム研究会代表)

協力:フランポネ(吉本興業所属のお笑い芸人)

第2部 講演「国境なき医師団」から世界の今を学ぶ

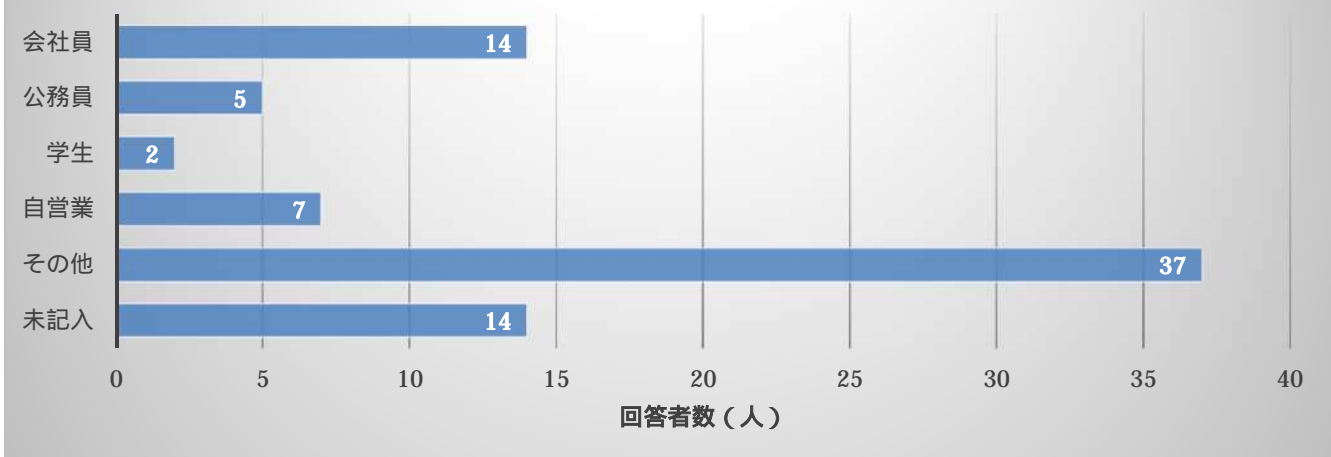
講師:西野 恭平氏(国境なき医師団医師)

### 6. その他

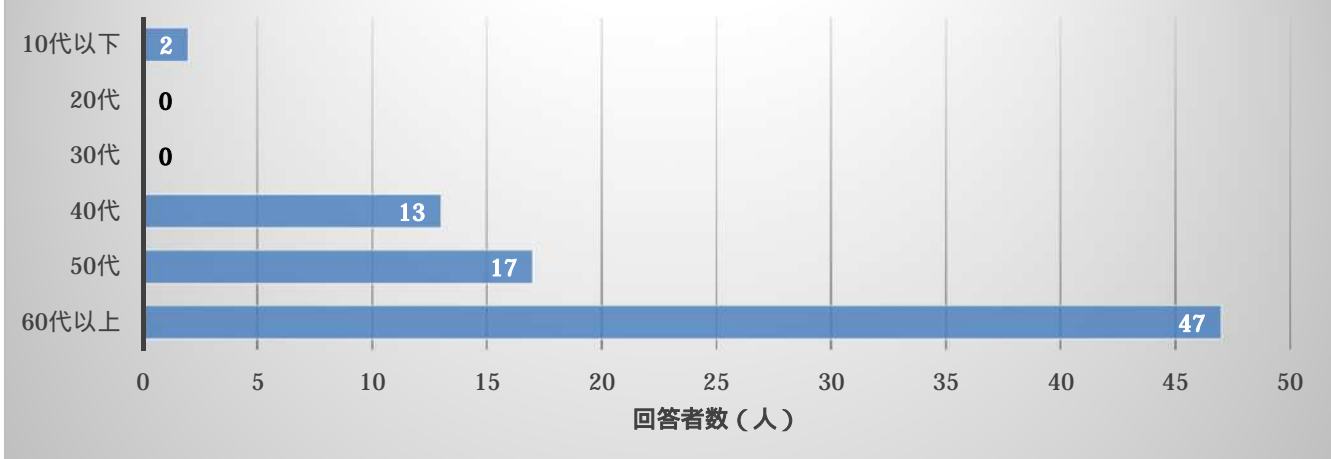
手話通訳、パソコン文字通訳有

## 第1部 アンケート集計結果（87人中79人回答） 未回答含む（設問による）

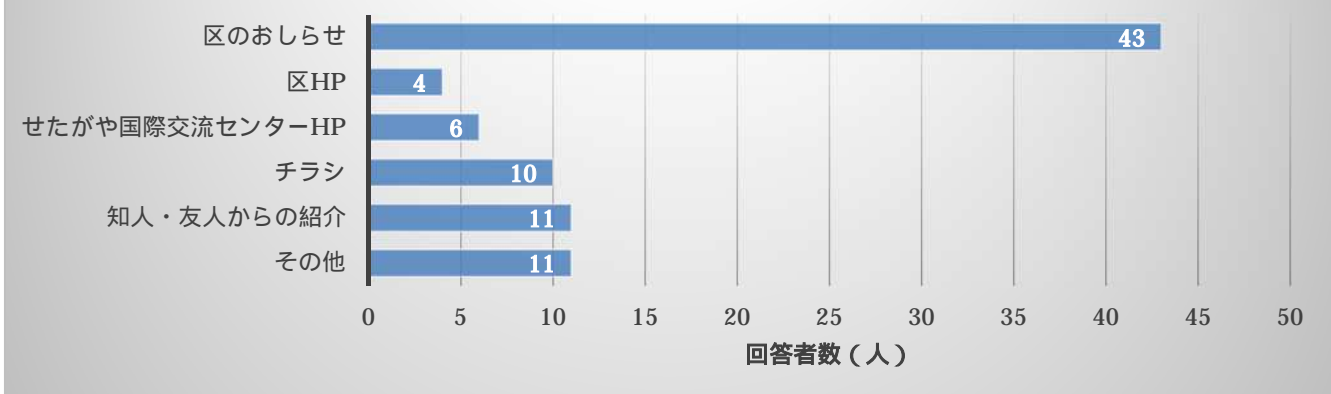
### 1. あなたについて (1) 職業



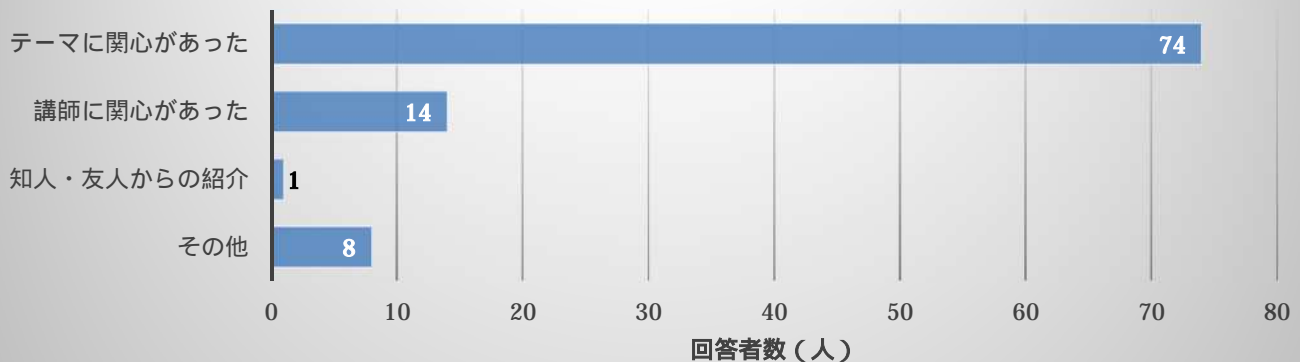
### 1. あなたについて (2) 年齢



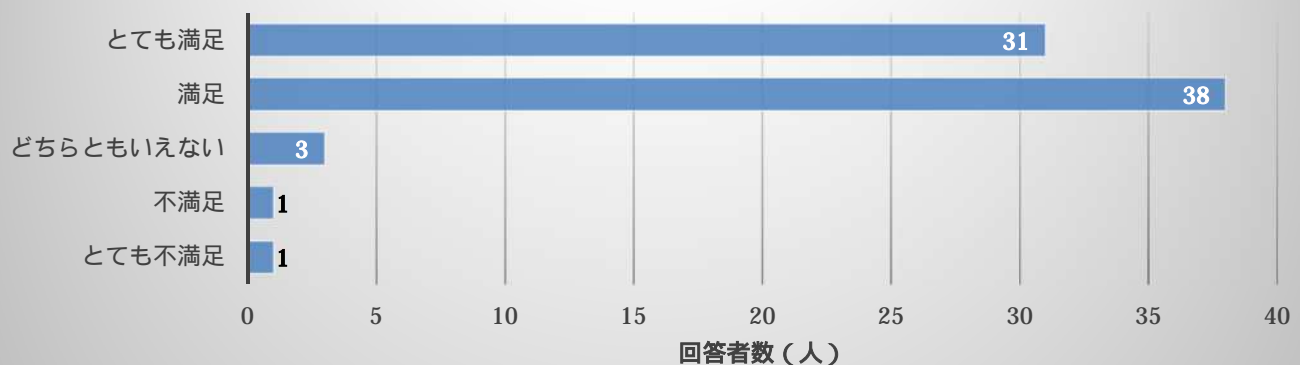
### 2. この講演会を何でお知りになりましたか (いくつでも)。



### 3. この講演会に参加した理由は何ですか (いくつでも)。



### 4. 本日の講演会の満足度や感想を 教えてください。



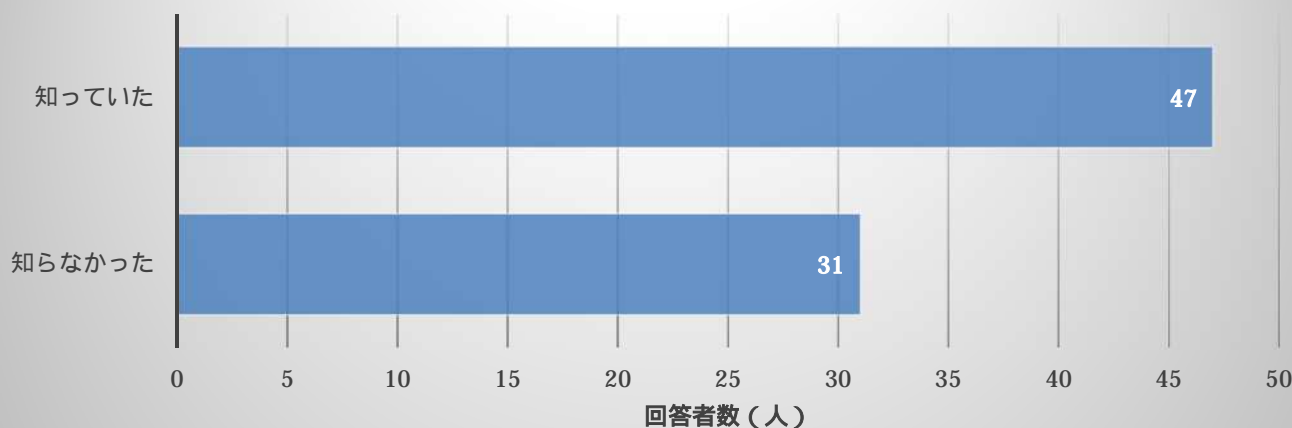
#### 【ご意見 (抜粋)】

- ・やさしい日本語に対する理解を「すし」など分かりやすく説明して下さったので理解しやすかった。
- ・「入門・やさしい日本語」認定講師として、特に導入部の組み立ての重要性を痛感した。
- ・ハサミの法則はわかりやすく、とても良いと思った。1文を短く言うスキルを身につけたいが、具体的にどのようにすれば良いのか難しい。
- ・ワセダ式・ハサミの法則。
- ・多言語に興味があった。ワセダ式・ハサミの法則。とても勉強になった。
- ・ハサミ・ワセダ式、とてもわかりやすい。オリンピックボランティアに役立つ！！
- ・やさしい日本語の作り方は意外と簡単。
- ・わかりやすい。フランス語/日本語の5才は素晴らしい。
- ・基本的な言葉に慣らすことが一番初めの課題と思った。
- ・色々な言葉を例に出して導入してくれたので興味が持てた。
- ・外国語の発音で「日本語の文章を再現する」Softcreameが面白かった。
- ・外国人の文字と発音を知る楽しさや、やさしい日本語について多くのことを知った。外国人との交流に役立てていく。

- ・いろいろな言語として文字についてのお話良かった。
- ・数時間の間にたくさんの言語に触れ、自分でも ” 分からない ” ” 理解できない ” を体験できたことが良かった。
- ・キリル文字やハングル文字を読み取ろうとして、日本文字が読めない海外の人の困難がわかった。
- ・キリル文字やハングルの読み方。英語以外の多言語への理解が印象に残った。ワセダ式は私が英語を勉強する時も同様に実感した事で、あらためて重要だと思った。
- ・ほぼ知っている内容だった。実際に知らない言語で内容を理解する体験は良かったと思う。
- ・私も海外での生活経験があり、言葉の壁、難しさを痛感していた。しかし、相手が、私にわかりやすいように工夫して話してくれると理解できた。易しい・優しい・やさしい日本語は外国人が活躍できる日本になるためにも大切なことと思う。
- ・多言語体験ができ、実際に日本に住む外国の方の苦勞が身にしみた。
- ・文化の違いから言語は成り立っているのかな、と感じている。
- ・現在行っているインド人への日本語の為に必要。
- ・外国の方との交流の方法はさまざまですね。来年のオリンピック・パラリンピックで良い出会いのきっかけがくれそう。肩肘はらずに。
- ・訪日外国人について英語で話しかけてしまいがちだが、日本語で話すと嬉しいのだなと知った。
- ・日本にいる外国人に英語で話しかけてしまうのはNG。
- ・外国語=英語という間違った考え。言葉がわからないだけで常識や知性がないわけではないこと。
- ・やさしい日本語で話せば友達になれる。
- ・やさしい日本語を使うことが実はいかに重要か改めて知った。
- ・世界の共通語が英語という認識が違うことがわかった！
- ・外国人を見たら全員英語という認識が変わった。
- ・やさしい日本語に置き換えてから通訳する（英語）に役に立つ。
- ・外国語を今も勉強中だが、もっと勉強して外国人とも接したい。ビデオ解説はスゴかった。
- ・他言語がまったく理解できないので、もっと知りたいと思った。
- ・第三者返答について知らなかった（障害者差別解消法）
- ・ ” 第三者返答 ” の中間者に ” 女性 ” も入る事が多い。
- ・やさしい日本語は外国人のみでなく、多様な方々にも役立つことがわかった。
- ・ろう者と外国人が似た問題を抱えていると知らなかった。
- ・「ろう」などとの関係。外国人への教育の新しい見方を得た。
- ・やさしい日本語は、みんなに必要なだと改めて確認した。
- ・対象は外国人だけではない。英語教育より大切。
- ・手話も1つの言語。答えは1つではない。
- ・やさしい日本語を必要としている人が多くいる。たどたどしい日本語を話すと、知的に低く見られることがある。
- ・文字が読めないだけで差別をしない。
- ・教育と社会のあり方の両面から、やさしさを広め、つながりを深めていく大切さを実感した。
- ・日本に住む外国の方が、日本語が熟練していなくても早く社会生活がうまく送れるよう、日本語の要求レベルを下げる。こちらの方も合わせる努力をする、というところがあるほどと思った。やさしい日本語は、ユニバーサルデザインに似ていますね。
- ・外国人、障害者の障壁がなくなるよう、世田谷区民としてノーマライゼーションを念頭に私も努力したい。

- ・「社会のあり方を変えれば、日本で生活するための日本語レベルは変わりうる」という言葉が印象的だった。特別支援にも通じる視点だと思う。
- ・自分の基準でなく相手のことを思いやって、やさしい言葉で話す。
- ・やさしいには易しいと優しいが含まれている、と思った。
- ・やさしい日本語の普及意義は、COOL JAPAN 的な文化政策ではなく、講師も話していた通り、人権保障の実現、誰一人も取り残さない社会づくりという共通理念として広めていきたいと改めて思った。
- ・仕事でやさしい日本語を使う習慣化の難しさ。子ども扱いになってしまう。
- ・やさしい日本語は、日本人の豊かな表現を使う機会が減る心配はないか？人生経験が豊富な人には向いていると思う。
- ・質疑でも出ていたが、担い手の問題について考えさせられた。それは一部の人でいいのか、それとも…。今後も考え続けていきたい。
- ・日本語をひとつの言語として客観的に分析しているところが良い。以前と同じようなレクチャーを聞いたが更に充実していた。
- ・第一部の内容を何うことができると思っていなかったが、多言語の魅力を改めて感じた。
- ・日本語は美しい。だからこそ、やさしい日本語をスタートとして、日本語を知り身に着けてコミュニケーションを上げていくことになると思う。とても大事、興味深かった。
- ・芸人の起用は良かった。スペイン語より話す人の多言語（ポルトガル、タガログ）を検討してほしい。
- ・芸人の方々の参加。
- ・前半では漫才の芸人も登場したり楽しかった。外国語にプラスし、手話のことも教えていただき、やさしい日本語は本当に必要だと思った。
- ・区民の中でも関心を持つ人が多いのでびっくりした。
- ・（講演会を）安易に中止にされず、良かった。
- ・「やさしい日本語」をまったく知らなかったので受講した。大体のことを理解できて良い機会となった。今後も学びたい。
- ・大変面白かった。パワーポイントの使い方が上手。
- ・こういう取組みは初めて知った。私も学友の会を主宰しているが、こういう問題を取り上げたい。
- ・「入門・やさしい日本語」の内容を再確認できた。
- ・楽しく「やさしい日本語」の骨子がわかり実践しようと思った。

## 5 . 「やさしい日本語」は知っていましたか。

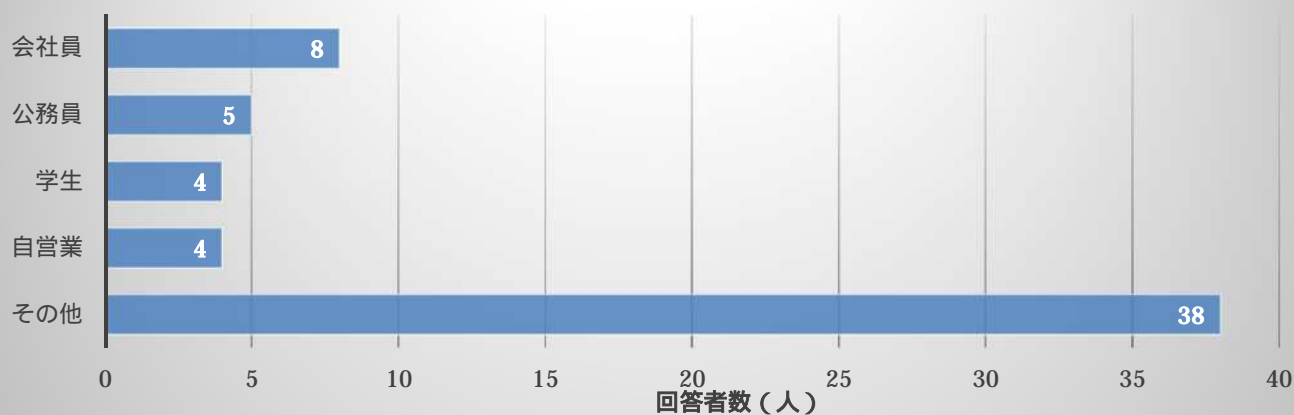


その他、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。(抜粋)

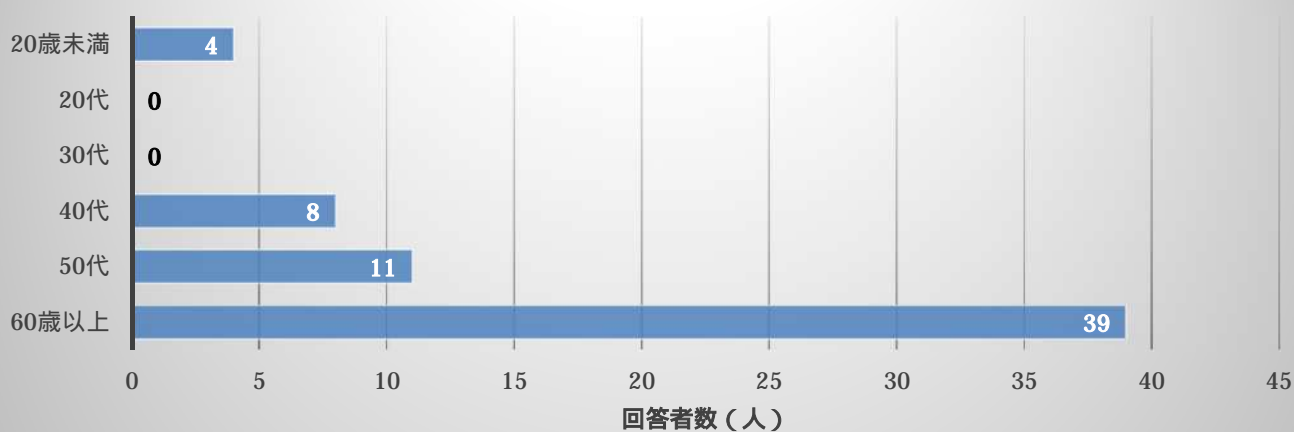
- ・皆さん無意識にやさしい日本語を使っている。行政や企業こそ率先すべき。日本語の乱れや衰退につながりかねない懸念もある。
- ・やさしい日本語はまず役所言葉を直すことから始めるべし。日本人でもしばしば役人が何を言っているか分からない。「～してもらってもいいですか?」とは、「しなくてはいけない」のか「するかしないか自分で判断できる」のか分からない。
- ・スクリーンの文字が小さい。最後列でも読める文字サイズでなくては、講演の内容についていけない。
- ・カバーされている範囲が広く楽しめた。一方、外国人に対するやさしい日本語の使い方について、もっと厚く聞きたかった。画面の大きさ、手話、キャプションの手配も良かった。次回はレーザーポインターも使われたらいかがでしょうか。
- ・出席者にも一緒に声を揃えて文章を覚えるのも良いのでは?
- ・「やさしい日本語」そのものの解説にもっと時間をかけても良いのではないか。
- ・もっと詳しく内容を聞きたかった。2時間すべてやさしい日本語でも良かった。
- ・知識として知らないことがたくさんあり、学びになった。
- ・障害者、外国人。困っているレベルは同じということをもっと知る場があるといい。
- ・外国人と友人になれる場所、困っている人に近所の日本人が助けられるように、コミュニケーションの場の提供。
- ・講座に参加したい。
- ・犯罪、防災、介護、外国にルーツを持つ子ども、技能実習生など、ハサミの方法を練習するワークショップ。テーマ別でシリーズ化してほしい。
- ・やさしい日本語を学ぶための授業を開催してほしい。
- ・また拝聴させて頂きたい。
- ・また同じ講師での講演やセミナーをやってほしい。
- ・国際交流に興味があった。海外で生活した経験から日本で暮らす外国人をサポートする活動のお手伝いができたらと思い参加した。「やさしい日本語」に対する情報をこれからも発信して下さい。
- ・訪日外国人の東京都観光ガイドボランティアで今年から活動する予定だった。今後も今日のようなリアル対面のイベントを(外国人に接するための)希望します!
- ・素晴らしい講演だった!またやって下さい!

## 第2部 アンケート集計結果（86人中70人回答） 未回答含む（設問による）

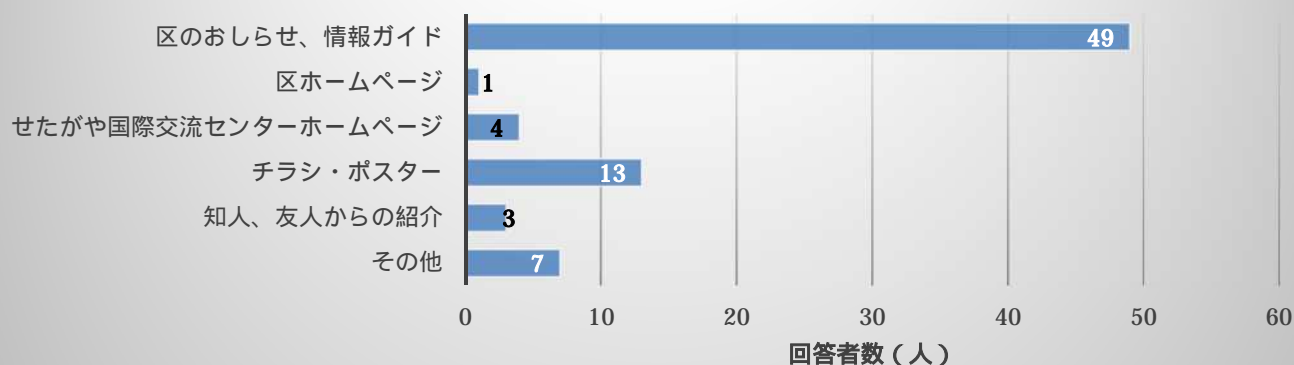
### 1. あなたについて (1) 職業



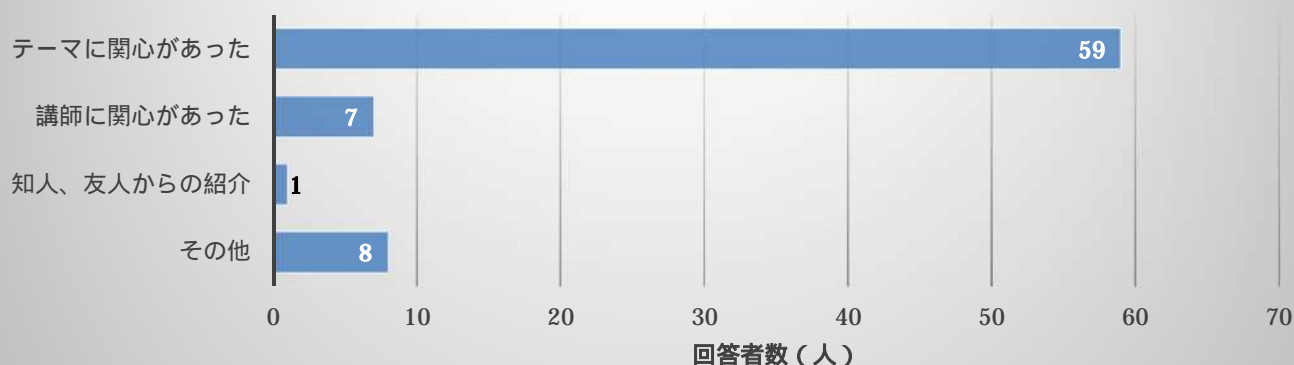
### 1. あなたについて (2) 年齢



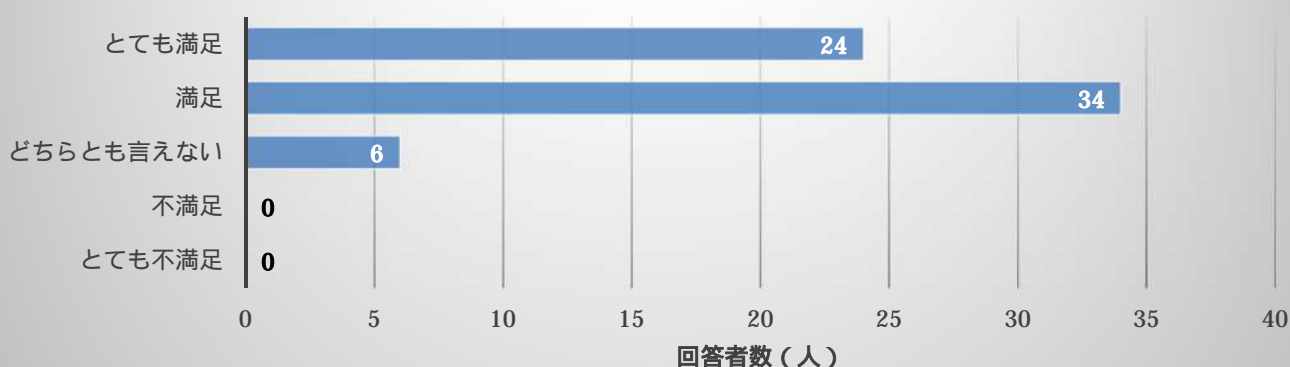
### 2. この講演会を何でお知りになりましたか (いくつでも)。



### 3. この講演会に参加した理由は何ですか (いくつでも)。



### 4. 本日の講演会の満足度や感想を 教えてください。



#### 【ご意見 (抜粋)】

- ・多文化共生を感じられるお話に内容ではなかった印象を受けました。国際貢献の現場のお話は面白かったですが、日本に住みあまりにも現実とかけ離れているので全く現実味が感じられない。
- ・COVID が先進国で広がり、アフリカで広がりを見せなかったこと
- ・実際に難民キャンプへ行った医療従事している方のお話を聞くことが出来てよかった。
- ・「イチロー」みたいなお声で、心に響きました。
- ・難民の人達の厳しい暮らしが少し理解できた。長くなれば子供、世界から忘れられていくその国難に深刻さを感じた。アフリカでのコロナ感染の少なさに驚いた。
- ・難民の生活の状況や医師達の対応の様子、差別偏見など実際に様子がよく知れた。
- ・難民の方々のほとんどの人が満足に生活が出来ていないかと思っていたが、国境なき医師団のスタッフのうち 85%が現地の人々だということを知り、まだまだ世界のことを自分では知らないことを痛感した。もっと世界の現状を知りたいと思った。
- ・確かに今の私たちとかけ離れた難民生活を知って胸が痛くなりました。私に何ができるのか考えたいと思いました。
- ・もっと具体的なお話を聞きたかった。



- ・スタッフは現地の人 が 85% で、現地委難民が自分たちの地域のために働いているということが印象的でした。私は現在 MSF のサポートメンバーですが、実際にお話を聞くことが出来て良かったです。
- ・もう少し PR をして呼びかけたらよいではないでしょうか。特に生徒、学生に向けて。若い人たちにこそ聞いてほしい話。
- ・難民問題を他人事としてとらえないでということ。飛行機で数時間のところに難民問題があること。
- ・南スーダンを含むアフリカでのコロナ感染が少ないのにほっとした。
- ・ ” 忘れてはならない ” 報道で私たちが知ることが限られている中これが大切だと感じます。
- ・西野先生、有難うございます。
- ・国境なき医師団の活動がわかりました。
- ・ “ 共有 ” は難しい、国内のコロナ問題さえ共有できていないのに。
- ・シリアやロヒンギャについては報道で聞いていたがナイジェリアも深刻な状況があることを知った。確かに女生徒 200 人が拉致されたニュースは衝撃だったが、いつの間にか忘れていた。
- ・国境なき医師団の働きや現地での過ごし方を知れて良かったです。
- ・静かに深く、悲しみと一人も取り残さない意志 ( 個に対する ) を感じました。現場で見、体験された西野先生だからこそのお話に感動しました。供花を届けたいと思います。
- ・当ニュースレターを時々読んでいるが体験者の話を聞くことも大切だ。
- ・少年の話、先生の経歴
- ・11 歳男の子が「学校に行きたい、勉強すれば医師やエンジニアになれるかもしれないの」と言っていた映像。不登校が増えている日本の児童生徒に見てほしい。
- ・命を大切に、私たちに出来ることは寄付する事だけです。
- ・難民キャンプの悲惨さ
- ・医師の中にも国際貢献を目指す人が居ることは発見でした。
- ・コロナのことで医者にかかりたくないという人がいてトレードオフな状況になること。
- ・すべて初めて知ったことなのですべて印象に残りました。ありがとうございました。
- ・講師の人柄がよかった。若いバリバリの現役医師であり経験がとてもある経歴がすばらしいのにひけらかさずにすばらしい。
- ・ペシャワール会でのこと、先方の言葉を覚えて対話する。
- ・ずっと手をあげていたのに全く気付いてくれない、司会は全体を見てほしい。自分の質問を先にするのもどうかと思う。ほかにいませんかと声掛けや確認をしてほしい。
- ・国境なき医師団の活動を聴くことができてよかった。いつか現場を知っている活動されている方からのお話を聴きたいと思っていたのでやはり先生はキラキラとして存在感がありました。日本は本当の意味では平和ではないがでも難民の方達へ想いを寄せるきっかけが私にはできたと思います。
- ・とりあえず寄付しようと思います
- ・私は 50 年前より毎月 5 千円ずつ寄付しています、現在も。
- ・西野先生の信念の立派さに心うたれた。何事もなく語っておられるが同じ人間としてすごさを感じた。残りの人生こういう仕事がしたいと思った。
- ・ロヒンギャとナイジェリアのキャンプの様子がわかった。
- ・辛い体験の話 ( 日本と異文化なので週間の違いなど ) が印象に残った。

- ・国境なき医師団の大半が現地スタッフ(=難民自身)だということ。治安の悪い地域(援助を一番必要としている場所)には入れないこと。派遣スタッフの半分は医療以外とは。
- ・「我が事と思うために...」という問題提起
- ・南スーダンの活動等、ハードな活動のリスクと隣り合わせの中でされている西野医師のお話に感動しました。
- ・ボランティアとして一般人も協力できることを知ったのでHPを見えます。
- ・現状をお話いただき大変な御苦労に頭が下がります。ありがとうございます。どうぞお気を付けて下さいませ。
- ・”同じ人間である”と世界の問題を考えさせられる想像を持ちたいと思った。子供の夢を実現させたい。”誰もとりのこさない”ことで、世界が少しでも良い方に進むようにわたしが今出来ることをしていきたい。MSFのスタッフの皆様に感謝しています。
- ・気落ちの共有、大切だと感じ入りました。ありがとうございました。自分の生き方を問いただしてみたいと思いました。
- ・実直な先生の話が聞いて有意義だった。
- ・音声が小さかったので音量を大きくしてほしい。
- ・実際の体験を基にしたスライドやお話を伺えてとても充実した時間だったと感じます。確かに紛争地域の映像や画像に悪い方向で「見慣れて」しまっていることに気づかされました。
- ・国境なき医師団の活動が具体的に分かったこと
- ・大変な使命を担って活動されていることはただ尊敬するばかりです
- ・難民の様子生活
- ・手話通訳があって良かった。
- ・西野先生の経験の基づくお話は、全て説得力がありすべての言葉を大切に聞かせていただきました。地球上の現実を知り、私なりの‘出来ること’を考えていと思いました。
- ・アフリカの「せんそう」のことがすごいインパクトでした。学校で、せんそうのことを学習し、どれだけつらいことかしているから。

その他、ご意見やご要望がありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・また国際貢献のお話を聞ける機会があれば参加したいです。
- ・寄付しています。これくらいしか出来ないのが現実。応援しています。
- ・コロナ禍でなかなか難しいと思いますが、このような催しを出来るだけ開催してほしい。
- ・時期(季)が悪くて参加が少なく勿体なかった。
- ・同じ講演を学校でやってほしいと感じました。自分たちに何が出来るかを考えてほしい。
- ・多くの方が少しでも寄付してもらいたいと思う。同じこの世に生活しながら少しもよくなっていないと思う。ぜひ協力してあげて下さい。
- ・私はすでにマンスリー寄付をしています。もっと上手に宣伝して寄付金を集めて下さい。少しのお金で助かる命のこともっと伝えて下さい。私も頑張ります。
- ・私は国境なき医師団の活動の支援者ですが、さらに国境なき医師団への理解が深まり大変良かった。
- ・西野先生はじめ、この会を実現させて下さった皆さん、ありがとうございました。
- ・質問の時間が短かった。講演が終了した後、みんなで集まって座談会のようなことをやりたかった。